

以前、修行している時期に発願した誓い。広大な誓い」との説明がある。
ここで道真が「誓弘」としているのは平仄を整えるためだと考えられる。

○誑語…欺言。でたらめな話。

白居易の「與濟法師書」に「如來是真語実語、不誑語不異語者」の用例が見える。

『漢語大詞典』では「①説謊話」と説明し、『參同契』「卷下」の「惟斯之妙術兮、審諦不誑語」の用例を引く。

126 ○福厚…幸せが厚いこと。

○唐捐…むなしく捨てること。

『法華経』「普門品」に「福不唐捐」の用例が、また『玄應昔義』に「唐、徒也。徒、空也。捐、棄也」の用例が見える。

『菅家文章』「262 丙午之歳、四月七日（下略）」に「未昔離心於魏闕、如今享福不唐捐」の句が見える。
ここでは「唐捐」を「無駄に棄てる」の意味で使っている。

『漢語大詞典』では「落空、虚耗、虚擲」と説明する。

127 ○熱惱…心作用の一つとする。ここでは、「猛暑に悩まされる」の意味と、両方かけている。
『法華経』「観世音菩薩普門品」の「若有衆生、恭敬礼拝観世音菩薩、福不唐捐」の用例を引く。

○煩…もたえ苦しむさま

○纒…やつと、かろうじて。

128 ○涼氣…すずしい気。涼しさ。また、秋の気。